

ほとけの 混和会だより

令和三年二月

東光院

仏の混和会

第152号

新型コロナウイルス、漸くワクチン接種が始まりました。今暫くの辛抱かと存じます。皆様のご健勝心よりお祈り申し上げます。



大自然の 営みに感謝

お釈迦様は大自然大宇宙の真理に目覚め「ブツダ」と成りました。その真理を「法」と言う文字で記されており、その様々な生命の源であり、「法」とは、人類又植物や動物、

私達が生きる事の母体と成るもので御座います。

「法」と言う文字はサンズイの水と去ると言う文字から成り立っております。

水は海水が蒸発して雲となり雲が冷やされて雨となり大地に降り注いで高い所から低い所へ去って行く、その過程に置いて様々な微生物や様々な生命が育まれ成長して行きます。

その大自然のあるがままの姿、そのままが真理であり、ブツダの導きと受け止めて私達は「法」を敬い尊んでおります。

要するに大自然の営みそのものを御仏の導きと受け止め、御仏に身をゆだねねあるがままに生きるという事であり、

畑に何の種を蒔いても雨が降らなくては発芽しません。

雨のお陰で様々な生命が宿り、太陽のお陰で大きく成長し、日が沈んでくれるお陰でゆっくり休む事が出来る。

その網の目の如くつながり合う大自然の営みの中で私達は生かされ成長し、いずれこの命も次の世代に継承されていく。

私達はこの当たり前の出来事から一歩たりとも外れて生きる事は出来ません。

昔の人はこの事実を日々の生活の中から感じ得ていました。よって自然の営みや様々な生命に感謝の念を捧げ、無益な殺生を謹み、必要以上にものを貪る事を控え慎ましく生きていきました。しかし私達は世界的な競い合う生き方に振り回され自然の営みに生かされて居る事を見失ってしまいました。今世界各地でこの過ちを改め、持続可能な社会の歩みを訴えられております。

よりどころ



不安がよ
耕されな
に大きな
かかま
豊か
は何か
つては
農地、
かたぎ

生活、老後、病、死、更に自然環境の悪化、私達の生きる社会に置いては様々な不安に満ちております。その中で、心の拠り所があると大きな安心が得られます。

この拠り所とは気持ちが揺らいだ時、ここに居ると心が落ち着くとか、あの人が居る所は心が安らぐ、更に私は何時も仏様に見守られているから安心、などと無条件で心が満たされ、心の支えと成る大切な役割を持ったものです。

このような拠り所を沢山持つて居る人は、人間性も豊かに輝き前向きに歩んで行かれます。

昨今の地球環境は異常気象、自然災害、乱開発など様々な不安要因が山積みされております。

国際的にもこの不安解消の対策として、SDGs、とスローガンを掲げ自然に優しい持続可能な開発を推進しております。

そこで、私達も自然に優しく寄り添い、人と人、そして御仏と私達、共に信じ合い、支え合う環境が築けるよう「法」と言う仏様の導き、そして大自然の営みをよりどころとし努めて参りたいと存じます。

今、私の地域に於いてはわずかながらも自然環境が保たれています。しかし最近では耕作放棄地が目立つようになっています。

数年の後には大半が荒廃農地と成る事は明らかで有ります。

生きる源である、豊かな自然が荒廃して行くなんとも忍びがたいもので御座います。なんとか自然と共に生きる環境を守り次世代に伝えて行きたいと存じます。合掌 亮観



日本仏教に登場する仏様を
毎号少しずつご紹介。
今回は如来部の阿闍如来を
紹介します。

●如来部 阿闍如来

余り聞かない名前前の仏様
ですが、実は七回忌のご本
尊様です。

阿闍とは「揺るぎないも
の」という意味があり、絶
対に戒律は破らさず、何事
も心が乱れ揺らぐ事も無い
仏とされ、物事に動じず、
迷いや欲に打ち勝つ強い心
を人々に授けてくださると
言われています。

阿闍如来の謂われにつか
れましては「阿闍仏国経」と
いう經典に説かれておりま
す。

それによるとその昔、
阿比羅提という国にて大日
如来が一仏の境地に至るた
めには「一」という説法が六回
にわたり行われました。
そこに参加していた一人
の僧侶がこの説法に感銘を
受け、仏としての悟りを求
める心を起こします。する
とすかさず
「私は今後怒り（瞋恚）の
感情を絶ち、欲にも絶対に
溺れません！」

と大日如来の前で誓い、長
い修行に入られます。
その言葉通りに修行に取
り組む姿勢を見ていた大日
如来は、僧侶が悟りを開き
仏となった暁に「揺るぎな
いもの」と言う名と、絶対
に怒りの心を起こさないと
いう「無瞋恚如来」の別名を
授けました。

浄土の東側で修行を続けな
がら、説法をされているそ
うです。

そんな阿闍如来の特徴は
左手で衣の裾を握り、右手
を下に向けています。

右手を下に向けている姿
を「降魔印」といい、指先を
地面に触れると心の中に住
む悪魔（怒りや欲）を退散
させると言われておりま
す。

コロナ渦と言う、ストレ
スも溜まりやすい世の中
すが、理不尽な怒りや身勝
手な行動などに揺らがない
阿闍如来の様な強い心を少
しでも抱けられたらいいで
すね。共に乗り越えたいよ
う。



京都府東寺蔵
阿闍如来座像

善因の種蒔き

お釈迦様は因果の道理を
「善因善果、悪因悪果」と説き示
して下さいました。

これは善い行いの種をまけば、
善果と言う良い果実が育ちます
よ。と言う仏教の基本的な教えで
す。

そこで二月二十三日（火曜）
善因の功徳を巡らす実践として
皆様と共に、ジャガイモの種の植
え付けを致しました。

三百坪の農作業、一人で行ったら
大変な苦行と成ってしまいます。
しかし、皆様のおかげで楽しい
善行と成りました。

ご奉仕心より御礼申し上げます。
尚このジャガイモは自然と共に
生きる学びとして、更に善業の功
徳を巡らす集いとして、七月四日
（日曜）皆様と共に収穫を楽しむ
後日改めてご案内致します。



お問い合わせは下記まで
hotokenosaien@gmail.com

令和三年度

「花まつり」中止のお知らせ

毎年恒例とさせて頂いております、お釈迦様の誕生を祝う「花まつり」（灌仏会）ですが
昨今の世情を踏まえ、本年度も **中止** とさせて頂きます。
楽しみにしてくださった皆様方には大変申し訳ございませんが
ご理解とご協力の程宜しくお願い致します。

一日も早く安心して皆様と集まれる事を切に願います。

合掌。

みんなで
大切な人の
命と健康を
守ろう!!

